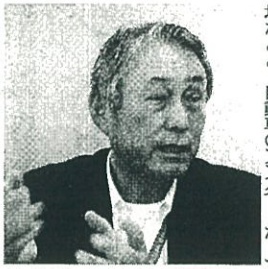
〝油外施策〟進めるエネクスオート

堤 浩二社長に聞く

洗車を切り口に顧客を店に



自動車の燃費向上や次世代車の普及により、燃料油需要の減少に直面する石油業界。これまで価格競争を繰り広げていた国内のガソリンスタンド（給油所）は、本業である燃料油以外の事業を育てることが喫緊の課題になっている。今後、どのような施策や事業モデルが求められていくのか。伊藤忠エネクスの子会社として、洗車事業を柱に〝油外〟施策を積極的に推し進めるエネクスオート（東京都港区）の堤浩二社長に燃料油市場の現状と今後の方針を聞いた。（横山 隼也）

来店回数の減少 不可避だが

―給油所は厳しい経営環境だと言われるが大きな要因はどこにあるか

「燃料油需要の減少は少子高齢化なども要因としてあるが、一番の原因はハイブリッド車（HV）の普及だ。これまで給油所に月間2回、3回と来ていたものが、燃費の向上により1回給油すれば足りるようになっている。今は来店回数が減ることが避けられない状況が業界全体で浸透しつつあると思う」

―新車ディーラーや整備工場などと、自動車のアフターサービス分野で競合するケースが多くなっている

「電気自動車（EV）や燃料電池車（FCV）が登場しているが、国内の保有台数を見れば中心は従来のガソリン車だ。ディーラーも車検やオイル交換などのサービスを手がけるようになり、クオリティーが上がっている。これまでの来店回数の多さに胡坐（あぐら）をかき、従来通りやり方を変えずにいれば負けるだろう。我々としてはまず来店してもらえるきっかけをつくらなければならない」

接客講習会や ノウハウの提供

―洗車サービスを行う事業者の育成を目指す日本洗車連盟を2015年に立ち上げた狙いは

「油外事業の原点は洗車や中古車販売だ。その中で来店頻度を高めるためにはどうするかと考えたときに、一定の需要が必ずある洗車をターゲットとして定めた。うわさがうわさを呼んで、会員数は現在約2100会員まで増えている。具体的には接客の技術を引き上げるため講習会を開催したり、洗車サービスに関するノウハウの提供などに取り組んでいく。会員については給油所だけでなく、整備工場など洗車事業を手がける異業種も幅広く受け入れていければと思う」

ネット通じ情報 提供の環境整備

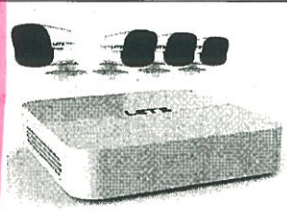
―加えてインターネット施策の展開も始めた

「『洗車専科』と呼ぶ洗車に特化したポータルサイトも立ち上げた。洗車事業を行う給油所の店舗情報や具体的なサービス内容など、サイトを通じた情報発信により一般ユーザーが情報を得やすくなる環境を整備していきたい」

―ディーラーや整備工場などではアフターサービスの多角化が活発化している

「もちろん他事業との連携も視野に入れていきたい。系列の給油所では中古車販売やレンタカー事業も展開している。洗車を切り口にして顧客を呼び込み、差別化につなげていければと思う。トータルカーサービスを実現できるかは店舗次第だが、スピード感を持って取り組むことが必要だろう」

中古車やレンタカー含め差別化



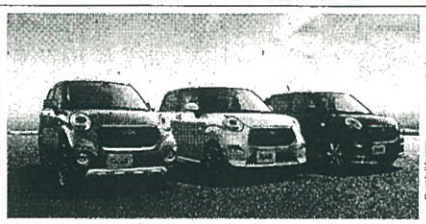
家庭用防犯レコーダー3機種を発売

レッツ

通信機器メーカーのレッツコーポレーション（後藤益巳代表取締役、名古屋市中区）は、業務用、家庭用の防犯レコーダー「見張隊（みはりたい）」シリーズ3機種を発売した。夜間撮影に対応する複数の赤外線カメラと録画装置をセットにした製品で、店舗の防犯用にも使える。同社が防犯カメラを製品化するのはこれが初めて。年間1千台の販売を目標にする。

業務用の「FHD見張隊PRO」＝写真＝は赤外線カメラ4台と500ギガバイトのハードディスクを内蔵する録画装置のセット。フルハイビジョン画質で録画ができる。ネットワークカメラのインターフェース規格ONVIFに対応し、他社のカメラともつなげる。モニターはオプション。参考価格は16万8千円。

家庭用の「見張隊エークル04」は赤外線カメラ3台と360度を見渡すドームカメラ、モニター付き録画装置のセットで6万9800円。同じく家庭用の「ワイヤレス見張隊」は赤外線カメラ2台とモニター付き録画装置のセットで6万9800円（税別）。



左からピクシスジョイC、F、S

トヨタが新型軽

トヨタ自動車は31日、新型軽乗用車「ピクシスジョイ」を発売した。カローラ店とネッツ店、軽販売比率の高い地域で取り扱い希望のあったトヨタ店15社、トヨペット店16社の合計210社で販売する。昨年9月にダイハツ工業が発売した「キャスト」がベース。これによりトヨタの軽ラインアップは5車種となる。

ピクシスジョイを発売

大径タイヤなどを採用したピクシスジョイC（クロスオーバー）、洗練されたエクステリアを演出するピクシスジョイF（ファッション）、スポーティーを強調するピクシスジョイS（スポーツ）の3タイプを用意する。

外板はC、Fは15色、Sは11色をそろえた。FF車の燃費は30キロ/リットルとなる。

販売目標は設定しておらず、従来どおり販売会社で年6万台を目安とする。

価格は122万400～162万円。4WDは12万4200～12万9600円高（消費税込み）。

AC電源の代用 バッテリーパックを一新

東日製作所

トルク機器開発・製造の東日製作所（江修社長、東京都大田区）は、AC電源がない売した、商用バンとして初めて、衝突回避支援型プリクラッシュセーフティを搭載。それを含めた安全パッケージ「トヨタセーフティセンスC」を標準装備する。1・5リットルFF車はアイドリングストップ機能を標準装備することでJC08モード燃費を19・6キロ/リットルに向上した。月販目標はプロボックスが2600台、サクシードが1000台。

FFの155万6280円（同11万8898円高）～「TX」1・5リットル車の170万2080円（同11万8407円高）（消費税込み）。

車販・整備店向けに電話代行サービス

シーブリッジ

自動車業界向けネット通販やコンサルティングを手掛けるシーブリッジ（鹿嶋武雄代表、千葉県市川市）は30日、自動車販売・整備店専門の電話代行サービス「くるまコール」を9月1日から開始すると発表した。プロのオペレーターが24時間365日、事業所の従業員として電話対応し、ビジネスチャンスのとり逃しを防ぐサービス。

顧客からの着信を一呼御サーバー」で受信。パソコンの画面に表示されるデータベースから会社情報と顧客情報を参照しながら通話して対応し、折り返しの約束まで行う。通話内容を電話とメールやファクスで事務所に報告する仕組みだ。

料金は、初期準備費用が1万9800円。このほか平日9時から18時に25コールまで対応する「くるまコールライト」で4980円から。24時間120コールまで対応する「くるまコールロング」が6万9800円（税別）。

米の電子商取引サイトに出店

クラフト

タイヤ・ホイール専門店のクラフト（瀬古正社長、名古屋市中川区）は31日、米eBay（イーベイ）が運営する電子商取引サイト「イーベイ」に1日から出店すると発表した。国内で買い取りした良質な中古タイヤ・ホイールを販売する。まずは日本車の人気が高いオーストラリアに限定し、100点を出品。今後は商品数の拡充や、オーストラリア以外の国へも販売を計画する。質のよい中古タイヤ・ホイールは国内外問わず人気が高いと見ており、イーベイを通じて海外市場に参入する。

「クラフトイーベイストア」では、国内店舗や宅配などで買い取ったタイヤ・ホイールをオンラインで販売。イーベイを通じて海外市場に参入する。

各クラスとも上位は動かず

オークネット 7月バイクAA

オークネット（藤崎清孝社長、東京都港区）は30日、7月のバイクオークション結果を集計し排気量別ランキングを発表した。各クラスともに前月から1～3位の車種構成に変化は見られなかった。

250ccクラスはホンダ「フォルツァZ」、400ccクラスは、同「CB400SF/SB」、401cc以上クラスはハーレーダビッドソン「H・Dスポーツスター」が引き続き1～3位を占めた。

オークネット 7月 バイクオークション成約排気量別ランキング

【250ccクラス】

順位	車名	メーカー	成約台数
1	フォルツァZ	ホンダ	43
2	スカイウェイブ	スズキ	34
3	ニンジャ	カワサキ	29
4	マジェスティ	ヤマハ	27
5	CBR250R	ホンダ	25

【400ccクラス】

順位	車名	メーカー	成約台数
1	CB400SF/SB	ホンダ	50
2	ドラッグスター400	ヤマハ	40
3	SR400	ヤマハ	34
4	ゼファー400	カワサキ	21
5	XJR400	ヤマハ	21

【401cc以上クラス】

順位	車名	メーカー	成約台数
1	H・Dスポーツスター	ハーレーダビッドソン	61
2	H・Dツーリング	ハーレーダビッドソン	58
3	H・Dソフテイル	ハーレーダビッドソン	38
4	CB1300	ホンダ	28
5	ハーレーダイナ	ハーレーダビッドソン	24

口コミ

ただ、最近は口コミサイトに設定されている評価採点が低かったり、満足できなかったユーザーの批判などのコメントが多くなりすると実際に来店客の数にも影響が出るというから驚きだ。単に参考程度に見るだけでなく、来店するかどうかを左右する情報となっている。口コミサイトの情報の価値が高まっているということなるかは給油所によ来店頻度は高いもにサービスをお願部分は美容室と共高まれば、多くの稿する動きが広がる。サービスに優ば、一般ユーザー口になるかもしれ

ワイパー

若者や主婦ターゲット企画してい の活用のほも増えてい の使い方講室、木材をップ、野外ントなども を持ってほしい」

ティング課若者のクル に理解は示こまさを伝 では」と述側の意識改 「クルマに